

高田馬場駅周辺エリアまちづくり推進協議会(第2回)

議 事 録

1 日 時

令和6年3月15日(金) 10時00分～11時00分

2 場 所

新宿リサイクル活動センター 2階 会議室

3 議 事

- (1) 協議会会則の改訂等
- (2) 検討スケジュール及び検討体制
- (3) 高田馬場駅周辺エリアまちづくりの検討

事務局より議事について説明し、意見交換を行った。主な意見等は以下のとおり。

(1) 協議会会則の改訂等

- 特になし。委員名簿の変更の承認。
- 特になし。会長と副会長の再選の承認。

(2) 検討スケジュール及び検討体制

- 特になし。

(3) 高田馬場駅周辺エリアまちづくりの検討

- 高田馬場には福祉施設が多くあるため、利用者の意見を早い段階から取り入れて欲しい。
⇒ユニバーサルデザインまちづくり審議会を活用し、建築計画の早い段階で意見を頂き、建築計画に反映できるように取り組んでいく。
- 諏訪通りのアンダーパスや小滝橋交差点の工事が完成したことで、早稲田通りの交通量がどのように変化し、まちづくりにどのような影響があるのか。
⇒早稲田通りの交通量については、現時点では把握していないが、今後東京都に確認する。
まちづくりへの影響についても、今後検討していく。(事務局)
- 基盤整備については、鉄道事業者の参画を働きかけて欲しい。
⇒別組織の推進検討委員会には、鉄道事業者も委員として参加しており、まちづくりへの協力を引続きお願いしている。(事務局)

○神田川沿いの遊歩道や駐輪場の整備をして欲しい。

⇒遊歩道の整備については、東京都の事業になるので、現時点では不明。駐輪場については、大規模開発に合わせ事業者に対して要望していく。(事務局)

○まちづくりについては、30年ぐらいの長い期間がかかると思っている。協議会メンバーは高齢であるため、もっと若い人からの意見も取り入れる機会を設けて欲しい。

⇒都市計画を定める際には、法令に基づき意見を聞く機会が必要となる。それらの機会を活用して若い方の意見を取り入れながらまちづくりを進めていく。(事務局)

○小学校敷地を再開発に含める事ができれば大きく発展できると思うので働きかけてほしい。

⇒小学校は、現在も児童が通っていて学校として使用されているため、再開発の区域に入れるのは難しい。(事務局)

○高田馬場駅は一日約90万人の乗降客があるため、1%でも降りれば9,000人になる。毎日9,000人も降りれば街が大発展するため、30年先と言わず10年でやった方が良いと思う。

⇒街としても賑わいが増すというご意見はご指摘のとおり、賑わいがさらに創出されるようにまちづくり方針の実現に向けて取り組んでいく。(事務局)

以 上